

〔 名前 〕 末次有加

〔 職位 〕 准教授

〔 保有学位 〕 博士（人間科学）

〔 担当科目 〕 人間関係領域指導法Ⅰ・Ⅱ、特別支援教育総論、  
保育実習指導／保育実習Ⅰ・Ⅱ、卒業論文Ⅰ・Ⅱ

〔 専門分野 〕 教育社会学

〔 学外活動 〕 日本教育社会学会会員、日本保育学会会員  
日本子ども社会学会会員、関西社会学会会員

〔 主な教育・研究業績 〕

（著書）

- 末次有加、2021、「第4部 子ども家庭福祉 45 障害のある児童への対応」中坪史典・山下文一・松井剛太・伊藤嘉余子・立花直樹[編集委員]『保育・幼児教育・子ども家庭福祉辞典』ミネルヴァ書房、pp.514-517、pp.525-526、pp.529-530.
- 末次有加、2019、「第4章 障害児に対する福祉・教育・保育の法律と制度」杉本敏夫監修、立花直樹・中村明美・松井剛太・井上和久編著『新・はじめて学ぶ社会福祉 6 障害児の保育・福祉と特別支援教育』ミネルヴァ書房、pp.54-60.
- 末次有加、2018、「第12章 特別な支援を必要とする子どもと人間関係」徳安敦・阪上節子編著『生活事例からはじめる—保育内容—人間関係』青踏社、pp.147-157.
- 末次有加、2017、「コラム4 インクルーシブ教育の現状と課題」伊藤良高・冨江英俊編『教育の理念と思想のフロンティア』晃洋書房、pp.84-87.

（学術論文）

- 末次有加、2020、「＜自閉スペクトラム障害＞をめぐる解釈レパトリの構築過程—幼稚園と親の会の共同性を中心に—」日本保育学会『保育学研究』第58巻（第2・3号合併号）、pp.93-104.
- 末次有加、2014、「『特別な支援』をめぐる保育士の解釈過程—公立S保育所の事例から—」日本子ども社会学会『子ども社会研究』（20）、pp.47-60.
- 末次有加、2012、「保育現場における『特別な配慮』の実践と可能性—子ども同士のトラブル対処の事例から—」東洋館出版社『教育社会学研究』第90集、pp.213-232.